

### 病院で発生した心停止患者に実施した Active Compression-Decompression 心肺蘇生法と標準的な心肺蘇生法との比較

#### 要約

米国 North Shore 大学医学部付属病院において、1992年 10月から 1993年 4月の間、現在行われている標準的な心肺蘇生（以下、STD CPR）と Active Compression-Decompression 心肺蘇生（以下、ACD CPR）との違いが比較研究された。

対象：同病院に入院した18歳以上の男女62名（男：45、女：17）で明らかに心停止と判定された患者。患者の平均年齢は62±2歳。

方法：1) 決定点(end-points)

- ・初期蘇生(Initial resuscitation)
- ・24時間生存(Survival at 24 hours)
- ・退院(Hospital discharge)
- ・神経学的評価(Neurologic outcome)

2) 胸部圧迫法

米国心臓学会推奨の方法によった。

3) 蘇生法の選択

病院が規定している『Advanced Cardiac Life Support プロトール』により順次 STD CPR か ACD CPR かが選択的に適用された。その結果、STD CPR：33例、ACD CPR：29例になった。

結果：

	ACD CPR グループ	STD CPR グループ	P値
1)初期蘇生	18例(62%)	10例(30%)	<0.03
2)24時間生存	13例(45%)	3例(9%)	<0.004
3)退院	2例(7%)	0(0%)	NS
4)グラスゴ-昏睡 状態のスコア	8.0	3.5	<0.02

NS:Not significant

決定点は、

- ・初期蘇生：成功率は脈拍の回復が認められ、少なくとも心室収縮時血圧が90mmHg 以上で1時間以上に及んだ例を成功とした。
- ・神経学的評価：蘇生約24時間後において、グラスゴ-昏睡状態スコアによって評価した。

結論：『初期蘇生』と『24時間生存』において顕著な結果が示され、ACD CPR に有意な改善が認められた。また、神経学的評価においても同様であった。除細動器の併用は ACD CPR の方が STD CPR より明らかに優れていた。意識が回復した患者の胸部X線と死後患者の胸部検査において、いずれも肋骨骨折や胸部外傷は認められなかった。対象とした母集団の患者の少なくとも60%が死に至る病気を先在していた。

(Todd J. Cohen, MD, et al; A comparison of Active Compression-Decompression cardiopulmonary resuscitation with standard cardiopulmonary resuscitation for cardiac arrests occurring in the hospital, N Engl. J. Med., Vol.329, No.26, 1918-1921, 23 Dec. 1993.)

【翻訳：松本医科器械 宣伝企画部 遠藤一夫】

医療に貢献・社会に奉仕

# アンブ カーディオポンプ

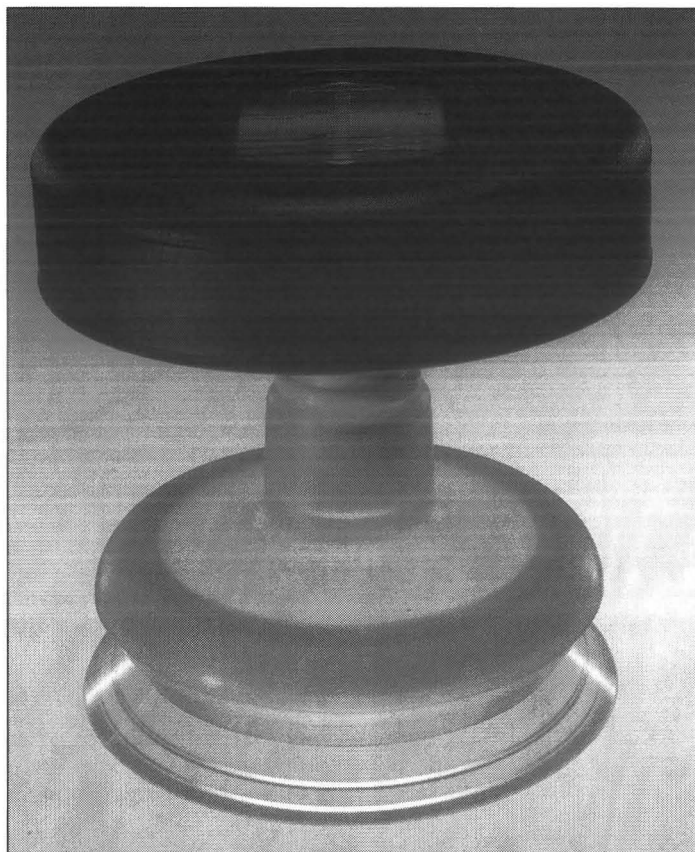
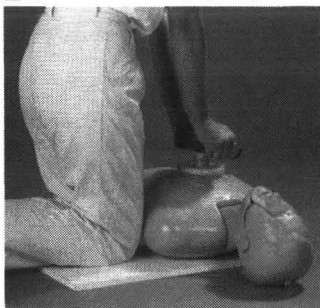
Active Compression Decompression method

Ambu CardioPump™

## 心肺蘇生の ニューステージ

ACD (Active Compression Decompression) 心肺蘇生法にもとづき設計されたアンブ カーディオポンプは、より確実に、効果的な心肺蘇生をもたらします。

ハンドル部のトップにゲージが組み込まれており、胸部の硬さに応じてゲージを見ながら圧迫の度合を調節することができます。



**Ambu** 

デンマーク アンブ社

承認番号：5日輸第126号

日本総代理店

 株式会社 **松本医科器械**  
MATSUMOTO MEDICAL INSTRUMENTS, INC.  
541 大阪市中央区淡路町2丁目4-7  
TEL (06)203-7651 FAX (06)226-1713

東京支店 TEL (03)3814-6683 FAX (03)3815-4341  
札幌 (011)727-8981 仙台 (022)234-4511 横浜 (045)423-3911  
名古屋 (052)264-1481 金沢 (0762)23-5221 広島 (082)223-4571  
福岡 (092)474-1191 浦和 (048)825-2110